

第5回学校運営協議会を開催しました

2月13日(火)に令和5年度第5回学校運営協議会を行いました。今年度、最後になります。

授業参観の様子、今年度の学校の取り組みについての振り返り、来年度に向けた課題などについて協議していただきました。

主な内容は、以下のようになります。



- 欠席している子が多い。感染症への対策を引き続きしていく必要がある。
- 全体的に落ち着いて授業に取り組んでいる。なごやかなクラスもあり、特徴が出ている。
- ICT機器を活用した音読の学習の様子が見られた。
- 元気に運動場で遊ぶ姿が見られてよかった。
- 大なわなど、体力向上の取り組みもよい。
- 子どもたちのあいさつが、少なかった(朝のあいさつ運動も)。
- 異学年の図工の授業を参観して、子どもたちの成長を感じることができた。
- 低学年で、先生が注意するのではなく、子どもたちどうして気づかせる指導をしていた。低学年から続けていくことが大切である。
- 高学年が、合唱に一生懸命に取り組む姿が印象的だった。
- 以前と比べて子どもの居場所になるところが増えている。子どもの実態に合わせてきめ細やかな指導につながっている。それが、落ち着いた授業にもつながっていると感じる。
- 支援を必要とする子どもへの対応も丁寧であった。
- 6年生の人権教育の掲示が、子どもの姿があらわれていてよかった。
- バイパス開通や県道延伸にあわせて、危険個所の確認が必要になってくる。
- 子どもたちのためにスクールパークを活用してほしい。
- 図書の実践のために来年度、PTAで予算化していただく。
- 不登校や外国につながる子、その家庭へ、学校だけではなく地域と連携して見守りや支援をしていけるようになるとよい。
- 地域の人材発掘は、続けていく。
- 学習や行事も、子どもの声を生かす活動を取り入れると学校が活性化していく。